

平林金属

御津第二工場が操業開始

港工場では新事務所棟

【岡山】鉄・非鉄・家電など金属リサイクルの平林金属（本社岡山、平林美社長）は6月下旬に、御津第



平林社長

二工場（岡山市）が操業を始めた。家電リサイクル拠点のリサイクルファーム御津と同じ、県営御津工業団地内に立地し、リサイクルファームで処理を終えたスクラップの二次、三次加工を行う。他工場で行っていた工程を団地内にとめることで、工場間の輸送

減らし、事業効率を高める。6月19日には小型家電のリサイクルを手掛ける港工場（岡山市）の事務所棟も建て替えを終え、リニューアルオープン、見学・視察の受け入れに対応できる環境を整え、情報発信機能を強化した。リサイクルファーム

リニューアルした港工場の新事務所棟



御津は家電4品目のリサイクルなどを行う拠点で、シュレッダーポイントや各種家電の再

資源化ラインなどを備える。近年は工場が手狭となっていたことから、ナゲツト加工やコンプレッサーの解体など、一部工程を岡山市内にある他工場で行っていた。今後、こうした工程を段階的に御津第二工場に

御津第二工場は2015年3月に閉鎖された日本たばこ産業（JT）岡山印刷工場の跡地に開設した。敷地面積は約6万8000平方メートル、平林金属の工場の中では最大規模となる。鉄骨造2階建て延べ床面積1万3500平方メートルの既存建屋はそのまま活用、西大寺工場（岡山市）からナゲツトライン、コンプレッサーカッターを移設した。

御津工業団地は岡山市中心部から北に15キロほどの距離にある。既存の工場の多くは物

流の面から沿岸に近いエリアに立地しており、災害時の事業継続（BCP）対応が課題となっていたが、内陸部に新たな工場を置くことで、BCP対応を進める狙いもある。港工場の事務所棟は、16年12月から建設を進めていたもの。鉄骨造2階建て、延べ床面積約330平方メートルの事務所を新築した。15年にスタートした有人施設型の資源回収事業「えこ便」は現在、岡山市に2店舗、鳥取県米子市に1店舗を展開する。環境省の「第

4回グッドライフアワード」の「環境と循環」部門、日本デザイン振興会の「16年度グッドデザイン賞」に選ばれた新しいタイプのリサイクル事業で、店舗では家庭から出される小型家電や金属類、古紙など「片づけ物」を回収するとともに、資源リサイクルについての情報発信を行う。住民にも認知され、好評を得ているという。17年度中には岡山市内にさらに2店舗を出店する予定だ。